

九州アジア観光アイランド総合特区

＜地域活性化総合特別区域通訳案内士(特区ガイド)育成等事業＞

【目標】

「観光アイランド・九州」として、成長するアジアマーケットの観光客を呼び込み、観光需要の喚起、消費の拡大を通じて、地域経済の活性化を図り、ひいては観光立国の推進、日本再生戦略の実現に貢献する。

【事業概要】 平成25年～29年実施

九州において急増しているアジアからの観光客のニーズに対応するため、地域活性化総合特別区域通訳案内士(特区ガイド)の特例措置を活用するものである。対象言語は中国語、韓国語、タイ語の3か国語。

単に特区ガイドを増やすだけでなく、ガイド技術の向上及び活動機会の拡大を目的として、スキルアップセミナー・商談会も実施している。

【事業イメージ】

ガイドの量・質を向上

ガイド研修

- ・事前審査
- ・研修
- ・口述試験

スキルアップ セミナー

- ・語学、文化
- ・救急
- ・実務

商談会

- ・旅行会社との
マッチング
- ・キャリアコン
サルティング

旅行者の満足
度向上

観光需要の喚
起

地域経済の活
性化

【実績】

- 特区ガイド合格者数 261人(中国語184人、韓国語62人、タイ語15人)
- アジアを中心とした九州への入国外国人数 125.8万人(平成25年※総合特区計画認定) → 494.1万人(平成29年)
- 九州における訪日外国人の年間観光消費額 3,424億円(平成27年) → 4,843億円(平成29年)